

口頭⑧

吸入薬の適正使用について

○木下 幸子（尾久ミキ薬局）
○加藤 彩（本店）

【目的】

吸入薬はデバイスごとに操作が異なり、使い方に注意が必要である。
デバイスの持ち方、吸入手順、吸うスピード（速く or ゆっくり）、
1回の吸入回数、1日の吸入回数・・・等、慣れるまで何度もチェックする必要がある。
また慣れた後に、間違った使用方法をしていないか（自己流になっていないか）のチェックも重要である。

適切なチェック体制を構築させ、よりよい服薬サポートを行うことを目的とした。

- ・患者様のｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ向上
- ・薬剤師の吸入薬指導の向上

【方法】

- ①吸入薬指導について薬剤師にアンケート調査
- ②アンケート結果をもとに資料作成と改善案実施
- ③資料、改善案実施後のｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ確認、考察

【結果】

薬剤師側の視点での問題点を確認できたことで、より良い吸入薬指導を行う工夫や、患者様の問題点に対する改善案が検討できた。

【考察】

研究を行ったことで、薬剤師が自信を持って吸入薬の服薬サポートを行えるような環境になった。また患者様のｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ向上にもつながった。今後も、自信をもって服薬サポートできるような工夫等考えていきたい。